



すぎやまひでき
杉山英樹さん
(山陽町厚狭)
昭和45年10月23日生

【旬ピール】

- ※仕事は 自動車の販売です。ここに来て、まだ2か月程度なので、地名を覚えるのが大変ですね。
- ※長門市について とても親しみやすいところですね。少し会話をすればすぐに友達になれるところがいいです。商談は、山陽側にくらべて、少しのんびりしている感じです。
- ※趣味は 釣りと競馬です。釣りは秋から冬にかけてのカレイ・ヒラメ釣りしかしません。競馬は自宅のテレビに専用チャンネルを付けています。前に名前が似ていることから「スギノブルボン」という馬の馬券を買って、万馬券を取ったこともありました。一度、引退した馬達に会いに北海道に行ってみたいですね。夢は、馬主になることです。
- ※気をつけていることは 仕事柄、交通事故に一番気を付けています。それと、言葉づかいですね。山陽側と長門でも微妙に言葉が違うので。
- ※好きな言葉は 「苦しいときほど笑っとけ!」ですね。苦しいときに苦しい顔をしていると、もっと辛くなるので、そんなときこそ笑顔で、いるようにしています。
- ※自由に一言 インターネットを利用した車の仕入れも行っていますので、店頭にない車(新古車・中古車)も画面上で見ることができます。ぜひ一度見に来てください。

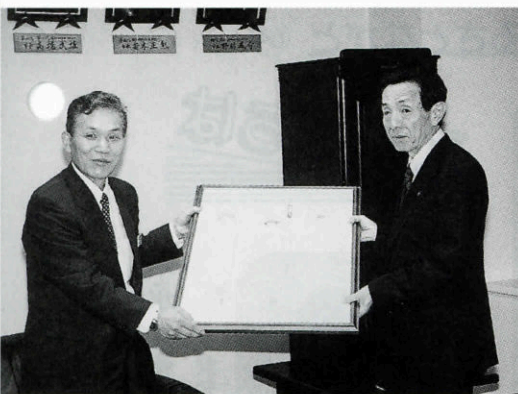
空気もきれい水もきれい 七段の滝河川プール開設20年記念



7月19日、自然に親しむことができる七段の滝河川プール開設20周年記念が行われました。

安全祈願神事のあと、中学生の模範遊泳、魚(アユ・ウナギ)つかみどりなどの行事が行われ、大変賑わいました。近年の少子化で、地区の利用者は年々減少し400〜500人程度になっていますが、地区外の利用者(北九州方面)が増えて、毎年盛況とのことです。

みずゞ詩集葉書贈呈



7月15日、童謡詩人金子みずゞの絵入りはがきの発売に先がけ、市役所ではがきセットの贈呈が行われ、長門郵便局長より長門市長に手渡されました。はがきはみずゞの代表作「大漁」「私と小鳥と鈴と」「星とたんぽぽ」「蜂と神さま」「わらい」の5種類がセットで、上野紀子さんが描いた少女のイラストが添えられています。

おおばいわしの名は、記憶にありながら姿をみずに年をへた。
4月10日、幻の魚は現実となった。5年前、山口県案内の大公告が神戸地方の各新聞に掲載され、私の目は山口に開いた。
大羽鯧の詩にうたれ長門の旅にでる。道中、鯨資料館・野上館長にあい導かれ、万感せまる。
「母鯨の命が絶たれた後も、子鯨は母につきまとうのです」切々たる母子の愛に胸を熱くする。更に、鯨墓にまいれば72体の胎児がまつられ、今に回向をたやさぬ長門人の慈愛の深さにふれ、去り難し。芳情の郷、長門よ。再び、おとなう日は……わが80の夏…再び…… 合掌



朝焼小焼だ 大漁だ
大羽鯧の 大漁だ……
神戸市北区
福来四郎さん

大羽いわしと鯨

応援団